

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年4月27日(2017.4.27)

【公開番号】特開2017-57207(P2017-57207A)

【公開日】平成29年3月23日(2017.3.23)

【年通号数】公開・登録公報2017-012

【出願番号】特願2016-224622(P2016-224622)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/40	(2006.01)
A 6 1 P	25/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/16	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 K	31/401	(2006.01)
A 6 1 K	31/4453	(2006.01)
A 6 1 K	31/445	(2006.01)
A 6 1 K	31/45	(2006.01)
A 6 1 K	31/4468	(2006.01)
A 6 1 K	31/495	(2006.01)
A 6 1 K	31/5375	(2006.01)
A 6 1 K	31/54	(2006.01)
A 6 1 K	31/55	(2006.01)
A 6 1 K	31/551	(2006.01)
A 6 1 K	31/496	(2006.01)
A 6 1 K	31/506	(2006.01)
A 6 1 K	31/451	(2006.01)
A 6 1 K	31/426	(2006.01)
A 6 1 P	25/28	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	21/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	31/40
A 6 1 P	25/02
A 6 1 P	25/16
A 6 1 P	25/24
A 6 1 P	27/06
A 6 1 K	31/401
A 6 1 K	31/4453
A 6 1 K	31/445
A 6 1 K	31/45
A 6 1 K	31/4468
A 6 1 K	31/495
A 6 1 K	31/5375
A 6 1 K	31/54
A 6 1 K	31/55
A 6 1 K	31/551
A 6 1 K	31/496
A 6 1 K	31/506

A 6 1 K 31/451
A 6 1 K 31/426
A 6 1 P 25/28
A 6 1 P 25/22
A 6 1 P 21/00
A 6 1 P 25/14

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月19日(2016.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

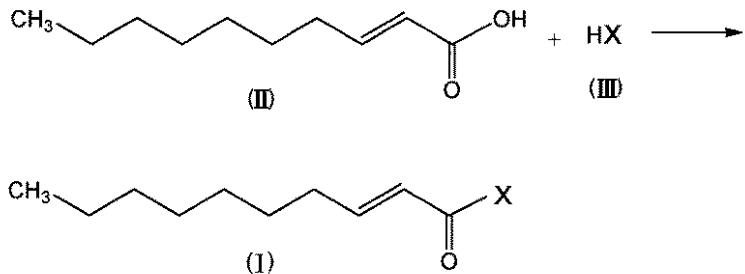
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(II)で表される化合物と下記一般式(III)で表される化合物とを脱水縮合することによる下記一般式(I)で表されるトランス-2-デセン酸誘導体の製造方法。

【化1】



〔式中、Xは、〕

- (a)カルボキシル若しくはアルコキシカルボニルで置換されている1-ピロリジル、
 - (b)3-チアゾリジル、
 - (c)アルキル、オキソ、ヒドロキシ、アルコキシ、カルボキシル、アルコキシカルボニル、アルキルアミノ、アルキルアミノアルキル、フェニル、カルボキシアルキル、アルコキシカルボニルアルキル、シアノ若しくはハロゲノフェニルで置換されているピペリジノ、
 - (d)チオモルホリノ、
 - (e)アルキル、カルボキシアルキル、アルコキシカルボニルアルキル、アルキルアミノアルキル、シクロアルキル、ピペリジノアルキル、フェニルアルキル、ピリジル、ピリミジル、カルボキシフェニルアルキル若しくはアルコキシカルボニルフェニルアルキルで置換されていてもよい1-ピペラジル、
 - (f)アルキルアミノ、ハロゲン、アルコキシ、アルキル、ヒドロキシ、カルボキシアルコキシ若しくはアルコキシカルボニルアルコキシで置換されていてもよいフェニルで置換されている1-ピペラジル、
 - (g)アルキル若しくはアルキルアミノアルキルで置換されていてもよい1,4-ジアゼパニル、又は
 - (h)カルボキシモルホリノ
- を表す。〕